

# あなたの町で、学童保育の研修してみませんか？

北海道学童保育連絡協議会が行っている「学童保育指導員セミナー」という各地（市町村や広域圏）で実施している出張研修会です。地元講師を呼んで、みんなで研修を受けられます。平日でも夜でも土日でもOK。みなさんのご都合に合わせてます。

学童保育指導員の向上のために、学童保育の基礎研修と日々指導員が悩んでいる事柄についての研修を行います。

内容は、学童保育の仕事内容の基礎研修、実践の紹介と検討などをします。

費用はかかりますが、確実に身になる研修です。詳しい内容を聞いてみたい方、具体的なご相談は、北海道学童保育連絡協議会事務局まで。

本集会昼休みによろず相談でもご相談にのりますよ。



## 『学童保育指導員セミナー』プログラム例

### 基本講義

	テーマ	学習内容
1	学童保育指導員の役割と仕事	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学童保育と指導員の仕事・役割</li><li>● こどもの生活を保障するとは</li></ul>
2	指導員の仕事の基本	<ul style="list-style-type: none"><li>● 指導員に求められること</li><li>● 指導員の基礎的な仕事（1）安全と健康</li></ul>
3	よりよい仕事をしていくために必要なこと	<ul style="list-style-type: none"><li>● 実践の確かめと記録</li><li>● 学習の必要性、方法、内容</li></ul>
4	指導員の仕事を確立するために おわりに	<ul style="list-style-type: none"><li>● チームワークと職場の確立</li><li>● 指導員としての職業意識</li></ul>

(1) 時間数：テーマ1つにつき50分、休憩をはさみ、全4時間コース

(2) 開催日：土曜日か日曜日に昼食をはさんで1日を使う場合、平日2時間ずつ2日に分ける場合など開催地とご相談させていただきます。

(3) 資料：『テキスト学童保育指導員の仕事』（全国学童保育連絡協議会編 500円）をご購入下さい。既にお持ちの方は、研修時にお持ちください。

(4) 上記テキストをご購入できない場合、資料を用意しますので、参加者数の印刷をお願いします。資料は約30ページあります。

(5) 費用：格安なお値段で。費用には講師謝礼・交通宿泊費、会場費、事務費などが含まれます。

(6) 受講者数は10名くらいの少人数から50名くらいまでが基本です。

(7) 場所・日程・費用のめどを立てて、事務局にご相談ください。

**まずは、メールでお問い合わせを！**

[dorenkyo@phoenix-c.or.jp](mailto:dorenkyo@phoenix-c.or.jp)



# 今年行われた学童保育指導員セミナーin 八雲のようす

9月23日、八雲町で学童保育指導員セミナーが開催されました。

4時間の講義では、『指導員の役割と仕事』、『指導員に求められること』の午前中の2時間は、学童保育の基礎や内容について、午後からの『書く現場の現状と課題』では学童保育での悩みなどを出し合い意見交換を行いました。『チームワークの重要性と職業意識』では指導員の目指すべき姿などの話もして終了しました。その後、質疑応答の時間を1時間とり、質問や震災の報告、全体の感想などを話して、昼休みの交流も含めて6時間に及んだセミナーを終了しました。



今回参加された指導員のみなさんの経験年数が、数ヶ月から10年近いベテランまで幅広く、午前には学童保育とは何かという内容をテキストを使いながら丁寧に学びあいました。午後の意見交換では、「注意しても聞いてくれない子にどのように言葉をかけて言ったらいいのかわからない」「軽い気持ちで発した言葉で子どもを傷つけてしまったこともあり、どうしたらいいのかわからない」「指導員にばかりくっついていて、なんとかみんなの中に溶け込ませてあげたいがどうしたらいいのかわからない」「指導員の出勤時間の問題もあるが、こどものことを共通理解にしたり、対応などのことを話していると時間が足りなくなってしまうが、他のところではどのようにしているか聞きたい」などが出されました。さらに、経験年数の少ない指導員からは「悩みがいっぱいありすぎる。子どもを好きだと思って入ったこの世界だが、最近子どもとのぶつかり合いや意思疎通ができないことが多く、大事なことが何なのかわからなくなっている。」と深刻な悩みも出されました。講師から、「できないと悩むばかりではなく、今、できることを精一杯やっていくこと、学習と経験を重ねる中で解決していく努力をすること、経験の長い指導員が支えていくこと、3年後の自分を見ているよと思ってがんばって続けていくこと」とアドバイスがありました。参加されたみなさんの感想では「(全道研修は)いろいろな地域の人がいて、よく理解できないこともあったが、今日は良くわかる内容でとても良かった。」「瞬間で感じていることも記録をしていかなければならないと気づいた」「新たな気持ちになった。責任感も感じる。指導員間でコミュニケーションも持ちながら学童保育をよくしていきたい」などが出されました。

朝とは違った気持ちで、少し自分が大きな気持ちになって一日を使った研修を終えました。緊張した顔だったみなさんが笑顔で話されている姿が印象的でした。

## 【昨年のセミナーの様子】



北広島市では、7月と8月の2日間に分けての講義となりました。参加された約50人の指導員は新人からベテラン、立場も常勤指導員から臨時指導員など様々でした。初日の内容は既に理解している内容を繰り返し聞いている方もいましたが、あらためて基礎を学ぶことで気づいたこともあり、夏休み前に気をひきしめて仕事にむかえる一助になったのかも知れません。夏休み明けの講義では、実践のとらえかた、書き方など身近な課題を取り上げながら、指導員のスキルアップのための方法を学びました。実際の場面を書いてきていただき、けんかのこと、おもちゃの片づけの時のトラブル、障がいがある子への対応などからいくつかの内容を取り上げて、状況による指導員の対応や思いを考えあいました。最後に誰もが実践を書けるようになり、プロをめざしてほしいと付け加えて2日間にわたった指導員セミナーを終了しました。



**深川市**では、妹背牛町、秩父別町、沼田町、北竜町、雨竜町、幌加内町、美瑛市の8市町村から学童保育指導員、子育て支援関係者、教師など48人が参加しました。研修は、北空知こども療育センターの「学童療育～発達を支援する遊びの紹介」もあり、短時間でしたが、学童保育の基礎や指導員の役割・仕事、子どもの発達など幅広い内容で講義を行いました。昼食をとりながらの交流では、AD/HDと診断された子への対応の仕方など具体的な質問も出されました。なかなか研修の機会がない中で、この研修をきっかけに、療育センターも支援しながら学童保育指導員で指導員会を作り、研修や交流を継続していきたいという思いも出され、今後実現に向けて動き出しました。



北海道の東の地域、オホーツク圏にある町、**津別町**では、日曜日4時間の講義でした。午前中の2時間では、学童保育とはなにか、学童保育に通う子どもたち、指導員の仕事の内容など基礎的なことを学び、昼食をはさんで、希望のあった遊びの例（けん玉、コマの実技、割り箸でっぼう、簡単な手遊びなど）も紹介しました。午後は、日本の学童ほいく詩に掲載されている実践を読みながら、書かれた実践の読み方、指導員の対応の仕方などいろいろな見方ができることを学びました。また、現場で抱えている悩みも出してもらいました。『普段から指導員に対して怒ったり文句を言う子どもが、行事の参加のプリントを持ってきたときに参加費を持ってこなかったの、説明をしてプリントを持って帰らせようとしたが、いきなり怒り出し、指導員はどうしてなのかわからなかった・・・』そんな事例を話して、そのときに指導員がどのように声かけをしなければならなかったのか、どこに気づかなければならなかったのか、などの意見交換をおこないましたが、これまでの実践の中での視点と研修を受けたあとの視点が違って来たことなども気づくことができました。



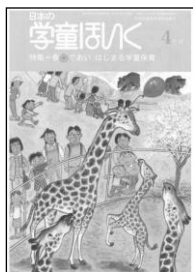
#### 【感想】

◆大変わかりやすいお話をありがとうございました。先生のお話を聞きながら3年前初めて指導員になった時を思い出しました。いつも「児童クラブって何？」と2人でたくさん話し合い、この子ども達には何が大切で何が必要なのか？考えた末に・・・私たちにできることは、今ではなく何十年後この子たちがクラブに来たことを思い出し「良かった」と思えることを沢山作ろうという結果になりました。結果はまだわかりませんが、指導員の仕事を聞いて「まちがっていなかったんだ」ととても勇気づけられました。

◆先日は研修記に来ていただき、本当にありがとうございました。私も3年目になりました。この2年あまり、悩みながら日々すごして来ましたが、お話をうかがい、私たちが思ってきた事や考え方が間違いではなかったと勇気づけられました。今、私が大事にしたいと思っている事は、自分の子どもも含めて将来児童クラブに通って良かったと思えたり、役に立ったと思えるクラブ作りとこれからの子ども達の未来を見つめた保育をしたいと思っています。目先の事にとらわれずに長く見据えるようにしたいと思います。本当にありがとうございました。



この資料は、『テキスト学童保育指導員の仕事』（全国学童保育連絡協議会）をもとに作っています。自分の仕事のテキストとしてぜひ、ご購入をおすすめします。（500円で販売中）



毎月、学童保育の情報がやってくる！

『日本の学童ほいく』誌の購読、おすすめ。  
1冊330円。年間購読でお申し込みを。

